

デジタルアーカイブ記録・管理 I

編著 林 知代
編著 加治工 尚子

目 次

I. デジタル記録・保管の発展	1
1-1. 文献資料情報の管理が始まる(1960 年代)	3
1-2. 英数字・カナ文字での管理	4
1-3. 漢字データの処理が可能になる(1980 年~)	5
1-4. 映像・音声・文字・数値等のデータの一的な取扱い(1990 年代~)	6
1-5. 各分野・領域でのデジタルアーカイブの開発が始まる	7
1-6. デジタルアーカイブの利活用の発展	8
II. デジタルアーカイブの記録	11
2-1-1. 正しい記録をするためには	13
2-1-2. 資料の背景の記録	16
2-2. デジタルアーカイブ記録の概要	17
2-3. 撮影の記録の方法	20
2-3-1. 文書の撮影	20
2-3-2. 卷物など長尺な資料の撮影	22
2-3-3. 接写撮影の詳細	25
2-3-4. 静止物の撮影	30
2-3-5. 回転台上で多方向から撮影	31
2-3-6. 音声の記録	32
2-3-7. 多方向からの撮影	34
2-3-8. 多視点撮影の方法	35
2-3-9. 全方位撮影	37
2-3-10. オーラルヒストリーの撮影記録	40
2-3-11. 高い位置からの撮影	42
III. 記録の計画	49
3-1. 記録の計画、準備	51
3-2. 記録計画	52

3-3. 実施計画の検討	55
3-4. 機材等の準備	57
3-5. 実施	59
IV. 選定評価項目	64
4-1. 保管・流用利用目的	70
4-2. 文化的な内容の適否	72
4-3. 慣習・権利(著作権、プライバシー、所有権等)・利益	73
4-3-1. 慣習	73
4-3-2. 権利	74
4-3-3. 利益	75
4-4. 社会的背景(例:各分野のガイドライン等が必要)	76
4-5. 利用者の状況(教育的な配慮も含む)…撮影時に注意	77
4-6. 利用環境(提示利用の状況)	78
4-7. 保管の安全上の課題(国内外の政治的・社会的背景・状況)	79
4-8. 保管上の課題(公開の条件)	80
4-8-1. クリエイティブコモンズライセンス(CC ライセンス)	81
4-8-2. 自由利用マーク	83
4-8-3. 文化的な背景の重視	85
4-9. 選定評価項目の課題 伝統的著作権の概念からの再検討	86
4-9-1. 伝統的著作権の概念の再検討が必要	86
4-9-2. 経済・政治・地理的勝者のデジタルアーカイブにならないためには	86
4-9-3. デジタルアーキビストの責任、機関の責任	86
V. メタデータ	87
5-1. メタデータの構成	89
5-2. 記録資料の一時保管のメタデータ例	90
5-3. 全方位撮影、GPS、サムネイル等で構成したメタデータ	91
5-4. ダプリンコア	98
5-5. デジタルアーカイブのメタデータ	99

5-5-1. 岐阜女子大学の記録・管理・流用のメタデータ	99
5-5-2. 利活用の支援(メタデータの構成)	101
[参考]メタデータの例	103
VI. 還元情報	123
6-1. 還元情報(フィードバック)	125
6-2. デジタルアーカイブの還元情報	127
6-3. 還元情報の収集	129
6-4. 還元情報とメタデータ	131
VII. シソーラス	132
7-1. 自然語と統制語	135
7-1-1. 自然語	135
7-1-2. 統制語	135
7-2. シソーラスの構成	136
7-2-1. 用語	137
7-3. シソーラス処理	138
7-3-1. 様々なシソーラス	138
7-4. シソーラス処理のための用語の検討	140
7-4-1. ディスクリプタ	140
7-4-2. アイデンティファイヤ	140
VIII. 人々の参加するデジタルアーカイブ	143
8-1. 経済・政治・地理的勝者の記録からの脱却	145
8-2. 2000 年初期のデジタルアーカイブ～長良川の水文化を例として～	145
8-3. 記録機材の普及を待つ	156
8-4. 人々の参加したデジタルアーカイブの開発～長良川水文化の発展として～	157